

# 体育

## 器械運動（マット運動）

竹園東小学校3年3組

授業者 久松 和則（T1）・柳下 勝（T2）

### ■ 単元の目標

- 楽しく友だちと協力し、励まし合いながら、進んで練習しようとしている。また、安全に気をつけて運動ができる。
- 自分の課題に合った練習の仕方を選択し、技のポイントを考えながら練習ができる。
- 基本的な回転技や倒立技に取り組んだり、技を組み合わせたりし、自己の能力に適した技ができる。

### ■ I C T 活用の視点

#### ○ 確かな学力をはぐくむために

自分の演技は、感覚でしかできばえを意識することができないが、ハイスピードカメラを使い客観的に演技を見ることにより自分の課題も分かる。また、練習前と後の演技を比較し、技能の向上を確認するとともに問題解決能力の向上を図る。

#### ○ 学び合い高め合える意見交流活動をするために

グループ活動をする中で、言語のみの助言では理解し合えない場合が多い、そこで、視覚で捉えることにより、より一層の理解を深め意見交流活動が活性化する。それにより、技能の向上を目指す。

### ■ 本時の授業の概要

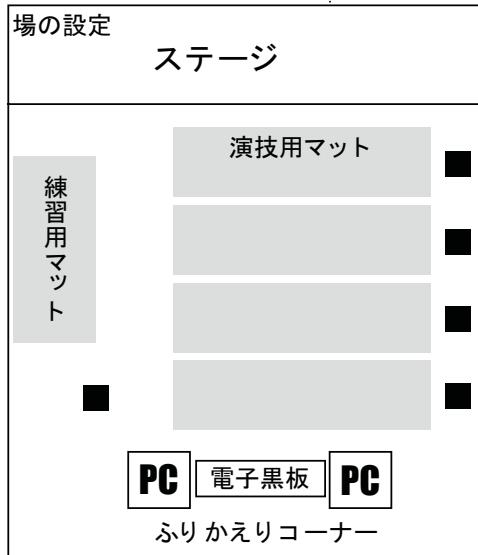
基本的な回転技や倒立技のできばえや練習の仕方について互いに見合ったり、教え合ったりして粘り強く学習してきた。これらのことを持ちながら学習し、その達成に向け、ハイスピードカメラを使って技のできばえや助言の工夫ができるようにした。

本時の学習では、自分の能力に適した課題を持ち、発展技を練習し、それらを組み合わせて連続技にチャレンジする過程の練習で、基本的な着手やふみきり、着地などを正確に行ったり、ハイスピードカメラを活用し、バランスやフォームの確認などを行ったりして技能の向上を図る。また、以前撮影したフォームと比較することによっても技能の向上が意識できるようにする。

### 本時の目標

マット運動を楽しみながら技能の向上を目指し、ハイスピードカメラを利用して、フォームの確認や正確さを教え合い励まし合い基本の技が正確にできる。

学習活動	指導上の留意点
1.学習のねらいを確認し、課題をたてる。	
今できそうな技にチャレンジし、できる技を増やそう。	
2.準備運動・パワーアップ運動をする。 3.演技のポイントを確認する。	ペアを組み、協力して楽しく活動する。（T1・T2） 師範演技を示す。（T2） ハイスピードカメラで撮影したコンテンツを電子黒板に映し、ポイントを示す。（T1）
4.前転系、後転系、倒立の発展技の練習をする。	課題の達成につまずきの見られる児童には、ハイスピードカメラを使って自分の動きを確認できるようする。（T2） 師範演技のコンテンツをいつでも見られ、自分の演技と比較できるようにしておく。 以前撮影した演技と比較させ、技能の向上を意識できるようにする。（T2）



- 5.整理運動・本時の反省をする。
  - ◎ グループ内で補助したり、助言し合ったりして基本の技が正確にできたか。（観察）  
効果的だった練習について振り返り、次の技に生かせるようにする。